



学校だより

令和8年2月24日

3月号

学校教育目標
～生き生き日枝っ子～

横浜市立日枝小学校

学びを力にー子どもたちの一年間の姿からー

校長 望月 重晴

梅の香りが爽やかに漂う季節となりました。早いもので、3月ももう間近です。学校では1年間のまとめの時期を迎えました。保護者や地域の皆様、そして学校だよりをお読みいただいている皆様には、今年度も本校の教育活動に多大なるご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、2月4日（水）には、命を守る力を確かなものにするため、予告なしの避難訓練を実施しました。突然の放送に驚く様子もありましたが、子どもたちは状況を判断し、先生の指示をよく聞いて落ち着いて避難する姿を見せていました。災害はいつ起こるかわかりません。だからこそ、「自分の命を自分で守る」意識を育てることは、学校教育において大変重要です。今回の訓練で得た気づきは、これからの生活を送るうえで大きな力になると感じています。

また、2月21日（土）には、子どもたちが一年間の「なかまの活動」で学んだ成果を発表する「日枝っ子まつり」を行いました。日枝小学校のなかまの活動は、地域の皆様とのかかわりに支えられています。多くの交流が「もっと知りたい」「できるようになりたい」という思いを育て、その積み重ねが「たくさんの人に見てもらいたい」という意欲へとつながります。当日は、多くの保護者や地域の皆様に見守られながら、どの学年も自分たちの学習を振り返り、工夫を凝らした発表を行いました。調べたこと、考えたこと、挑戦したことを自分の言葉で語る姿、生き生きと友達と協力する姿から、学びが確かに子どもたちの中に根づいていることを実感しました。参観された保護者の皆様からも、「成長を感じた」「普段の学びがよくわかった」という温かい声をいただきました。

さらに、日枝っ子友の会総会や日枝小学校同窓会による卒業アルバム展示会では、多くの皆様にご参加いただき、本校の教育活動を支えてくださる保護者の皆様の思いや、受け継がれてきた日枝小学校の歴史の重みを改めて感じる事ができました。子どもたちの学びを地域全体で見守り支えていただいていることに、深く感謝しております。

この一年、子どもたちは多くの経験を重ねる中で、心も体も大きく成長してきました。うれしいことや楽しいことだけではなく、ときには悔しさや難しさを味わうこともありました。しかし、その一つひとつが未来へとつながる大切な学びでした。子どもたちの成長を温かく見守り、支えてくださった保護者の皆様・地域の皆様に、改めて心より御礼申し上げます。

間もなく進級・卒業の時期を迎えます。子どもたちが自信と希望を胸に、次のステージへ力強く進んでいけるよう、教職員一同、最後まで丁寧に寄り添ってまいります。今後とも変わらぬご理解とご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。